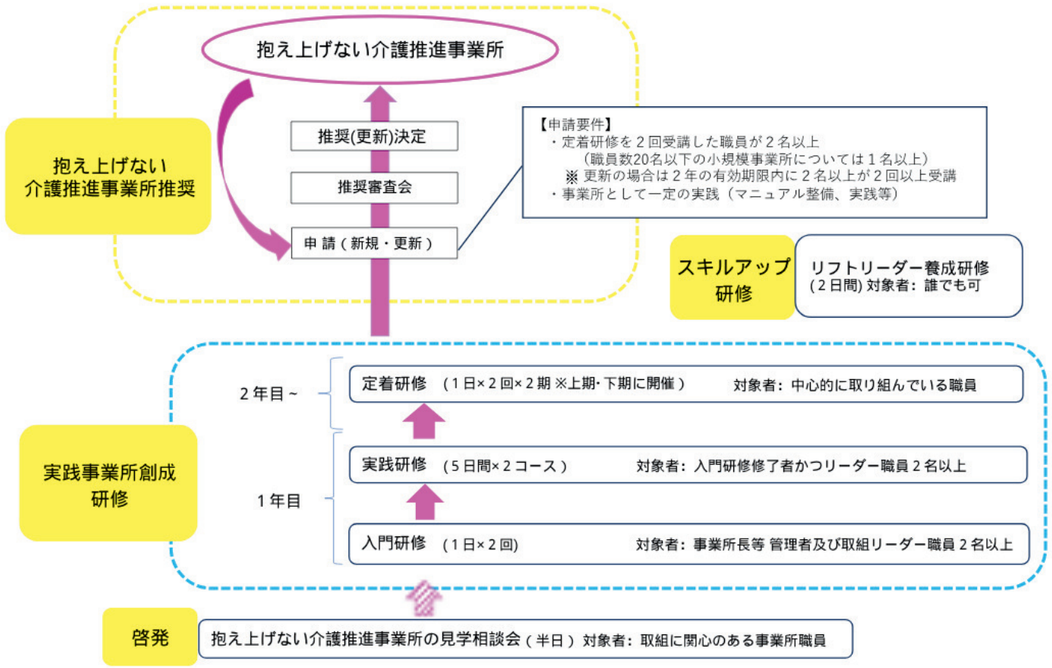
SAFE CARE
抱え上げない介護 滋賀　SHI－GA

＜抱え上げない介護（ノーリフティングケア）推進業体系図



詳細はこちらからご確認ください

抱え上げない介護 推進事業の流れ詳細	抱え上げない介護 推進事業所紹介	抱え上げない介護 取組事例紹介

みんなにやさしい
ノーリフティングケア
「抱え上げない介護」

SAFE CARE SHI－GA



ノーリフティングケア
「抱え上げない介護」を
滋賀のあたりまえの介護に！

滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 次世代ケア推進センター
〈お問い合わせ〉TEL.077-567-3907　HP：https://www.shigashakyo.jp/kaigosupport/

ひたすらなるつながり
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

HP　Facebook　Instagram

ノーリフティングケア「抱え上げない介護」を滋賀のあたりまえの介護に！

ノーリフティングケア「抱え上げない介護」について



PHILOSOPHY

- 抱え上げない！
- 持ち上げない！
- 引きずらない！

滋賀県社会福祉協議会では、滋賀県内におけるノーリフティングケアの普及を目指し、〝抱え上げない介護〟と名付けて、令和元年から抱え上げない介護推進事業を展開しています。

その中で、抱え上げない介護の理論の理解・実践の体制つくり・取組の定着を目的とし３ステップの研修を修了し、地域で〝実践を広げる〟ための取組を実 践・継 続している事業所を「 抱え上げない介護推進事業 所 」として推奨しています 。令和６年度、新たに推奨決定した推進事業所の皆さんに抱え上げない介護の効果を聞きました 。



ノーリフティングケア「抱え上げない介護」の３つのPOINT

POINT 1 介護者の腰痛を予防します！

実は、介護者の70%以上が腰痛を抱えています。身体の使い方を見直し、正しい姿勢で適切に福祉用具を使うことで腰痛を予防することができます。



職員の腰痛リスクの意識が高まったので、一人一人の少しの工夫や改善により、腰痛ハイリスクの職員が減少しました。
特別養護老人ホームあやめの里



腰痛による休業者はここ数年いないです。
重症心身障害者通所施設たいよう



就業前のストレッチを自発的に行う職員が増えました 。
マザーレイク湖の波



福祉用具を使用して、女性職員が男性ご利用者のケアができるようになりました。
山寺作業所

POINT 2 介護を受ける人にもやさしい介護です！

介護を受ける人は「抱え上げられない・持ち上げられない・引きずられない」ことで、介護を受ける時の痛みや不快感が減ります。心身ともに安心･安全を得られることから、身体の緊張が和らぎ、拘縮や変形といった二次障害の予防にも繋がります。



リフト移乗でスリングシートに包まれることで、ご利用者の過度な緊張やのけぞりが軽減され、リラックスした状態で移乗できるようになりました。
重症心身障害者通所施設ピアーズ



新たな機器の導入で、ご利用者の骨折リスクが軽減しています。
びわこ学園
医療福祉センター草津



ご利用者の移乗時の打撲や拘縮悪化が減っており、褥瘡なく看取りができました 。
地域密着型
特別養護老人 ホームやまでら



抱き上げのための力を使わなくていいので、職員は余裕を持ってご利用者とコミュニケーションを取りながら支援を行えています。
びわこ学園医療福祉センター野洲



家族への「抱え上げない介護」の助言を通じて、自立支援と介護負担の軽減が図られ、ご利用者の在宅生活の継続にもつながりました。
特別養護老人ホームあやめの里

POINT 3 事業所内のゆとりが生まれます！

福祉用具を使うことは時間がかかるよ うに思われますが、二人介助で行っていたことを一人の介助で行うことができ効率的です。福祉用具を使用するケアでは、時間的にも心理的にもゆとりが生まれます。



病院等へ抱え上げない介護取組をお伝えしておくことで、入所サービス利用を考えている方が入居を希望されることもあります。
地域密着型特別養護老人ホームやまでら



定年を延長し、すべての職員が安心して働ける環境となりました 。
特別養護老人ホーム
あやめの里



養護学校実習生が福祉用具を初体験し、その後入職されるきっかけにもなっています。
山寺作業所

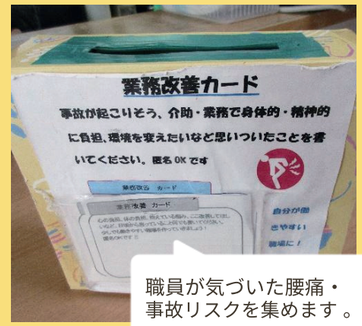


医療ケアが必要な利用者の移乗の場面で、男性職員など限定した職員のみで行っていたが、どの職員でも安全･安楽に支援できるようになりました。
重症心身障害者通所施設ピアーズ



直接介護を行う職員だけではなく、全職種の職員が働き方を考えるきっかけになりました 。
びわこ学園医療福祉センター草津

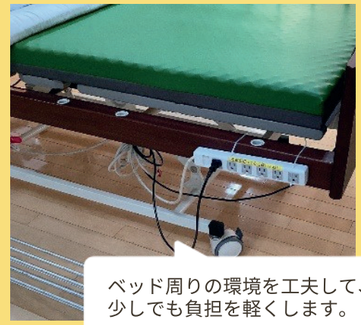
PHOTO 実際の現場の様子！



職員が気づいた腰痛・事故リスクを集めます 。



リフトを使ってお互いに負担なく移乗します 。



ベッド周りの環境を工夫して、少しでも負担を軽くします。



研修で職員みんなの知識と技術を育てます。